



私たち一人ひとりの行動が、
未来につながる。

SDGs 未来都市 神奈川県



神奈川県

令和2年8月 11 日

参考資料

経済産業省 ヘルスケアサービス社会実装支援事業に採択

神奈川 ME-BYO リビングラボの事前面談を実施した2事業が採択されました！

神奈川県では、県民の意識・行動変容を促進し、地域等の健康課題解決につながる未病関連商品・サービスの実証事業を支援する「神奈川 ME-BYO リビングラボ(以下、リビングラボ)」を運営しています。このたび、リビングラボの事前面談^{※1}を実施した次の2事業が、経済産業省令和2年度ヘルスケアサービス社会実装事業費補助金(ヘルスケアサービス社会実装支援事業)^{※2}に採択されましたので、お知らせします。

1 採択事業①の概要

- (1) 代表団体: エーテンラボ株式会社
- (2) 事業名: ピアサポートアプリ「みんなチャレ」を
活用した行動変容による生活習慣病予防事業
- (3) 実施予定地域: 神奈川県(市町村や企業)



2 採択事業②の概要

- (1) 代表団体: 株式会社ハタプロ
- (2) 事業名: 画像認識・対話 AI を活用したフレイル・
認知症予防プログラム
- (3) 実施予定地域: 神奈川県、大阪府(介護施設)



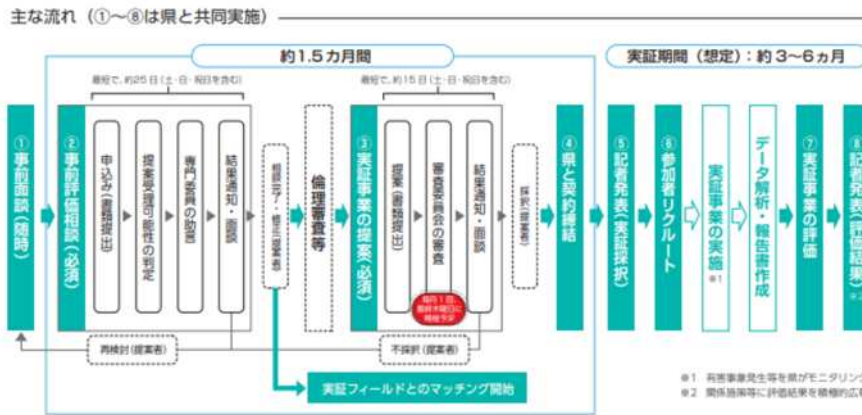
3 今後の予定

上記2事業は、令和2年度秋を目途に、神奈川 ME-BYO リビングラボを活用し、他の地域へ展開可能な社会実装モデルを創出して、県内市町村や介護施設等を実証フィールドに実証事業を行う予定です。

また、いずれの事業も、新型コロナウイルス感染拡大や災害が発生した中においても、県民が主体的に未病改善に取り組めるソリューションであり、社会実装が期待されます。

(※1)神奈川県が、民間事業者等から相談を受け、地域や職域の健康課題を踏まえ、未病関連商品・サービスの社会実装モデルの構築や、実証事業の内容等に関してアドバイスを実施。

【神奈川 ME-BYO リビングラボ】



(※2)経済産業省が、地域版次世代ヘルスケア産業協議会*や関係者等を通じ、地域や職域の健康課題を踏まえ、生活習慣病やフレイル・認知症予防、地域包括ケアシステムの構築に寄与するヘルスケアサービスの創出を目指す事業を対象に補助を行う事業(補助率:対象経費の1/2以内、補助額の上限:1千万円程度、採択件数:計9件)。

【採択事業一覧】 <https://seedplanning.co.jp/-/2020/healthcare/saitaku.html>

* 地域のヘルスケア関係者(自治体、医療・介護機関/関連団体、大学、金融機関、民間事業者など)が連携し、①地域発の新しいヘルスケアサービスの創出、②地域内外のヘルスケア事業者に実証フィールドを提供し、併せて地域住民がその効果を楽しむことができる体制の整備などを実施するために、都道府県や基礎自治体を中心となり設置するもの(神奈川県は「未病産業研究会」として設置)。

県では、SDGsの達成にもつながる取組として、県民の未病改善の実践等を促す民産学公連携による実証事業を推進する神奈川ME-BYOリビングラボに取り組んでいます。



問合せ先

(神奈川 ME-BYO リビングラボに関すること)

神奈川県政策局 SDGs推進課

SDGs連携担当課長 湊 電話 045-285-0538

連携グループ 天城 電話 045-285-0909

(その他、未病産業の創出に関すること)

神奈川県政策局ヘルスケア・ニューフロンティア推進本部室

未病産業担当課長 本間 電話 045-285-0156

未病産業グループ 上西 電話 045-285-0778

**【経済産業省】「令和2年度ヘルスケアサービス
社会実装事業費補助金」に採択**
～ AI を活用したフレイル・認知症予防プログラムを産官学医の連携で創出 ～

AI（人工知能）を活用したシステムやロボットを製造・販売する株式会社ハタプロ（本社：東京都港区、代表取締役：伊澤 諒太、以下：ハタプロ）は、「経済産業省 令和2年度ヘルスケアサービス社会実装事業費補助金（ヘルスケアサービス社会実装支援事業）」に「ベンチャー・大企業による産官学医連携コンソーシアム」の代表団体として応募し、採択されました。



経済産業省のヘルスケアサービス社会実装支援事業は、民間事業者等による地域や職域の課題に応えるヘルスケアビジネスモデルの確立に向けた取組を総合的にサポートし、新たなヘルスケア産業を創出するという目的で、地域や職域の健康課題を踏まえ、生活習慣病に係る一次予防（健康づくり）、二次予防（疾病の早期発見）、三次予防（疾病の重症化予防）や、介護予防に係る一次予防、二次予防（生活機能低下の早期発見）、三次予防（要介護状態の改善、重度化の予防）等に着目したヘルスケアサービスの提供を行う事業を補助し、他地域への展開を目指すものです。

ハタプロは、「画像認識・対話 AI を活用したフレイル・認知症予防プログラム」を、研究開発拠点がある神奈川県、大阪府から実施し全国への展開を目指します。

経済産業省の公募の詳細は、下記ページをご覧ください。

「令和2年度ヘルスケアサービス社会実装事業費補助金」
ヘルスケアサービス社会実装支援事業（ヘルスケアサービス創出支援）
<https://jgrants.go.jp/subsidy/259>

ハタプロは、今後も社会に便利で役立つ存在になる AI ロボットを開発していくとともに、様々な企業とのオープンイノベーションにより、次の時代の旗となる新たな価値を創造してまいります。

【本プレスリリースのお問い合わせ先】

株式会社ハタプロ 総務広報担当：大塚
TEL：03-6277-7335 E-mail：info@hatapro.co.jp